

(集中審査)

遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画の策定

(都市局公園緑地課)

- 資料1 III-63 遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画の策定
- 資料2 遠州灘海浜公園（篠原地区）公園整備プラン及び野球場タイプの評価
- 資料3 公園整備プランの評価
- 資料4 野球場タイプの評価
- 資料5 基本計画策定の進め方
- 資料6 野球関係団体への聴き取り調査
- 資料7 イベント興行に関する聴き取り調査
- 参考資料 公園全体の概算事業費等

Ⅲ 重点事業の実施状況

Ⅲ－63 遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画の策定

（都市局公園緑地課）

1 経緯

県では、平成 30 年度から遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画の策定を進めている。

令和 2 年 2 月に基本計画のベースとなるプランとして、3つのコンセプトに基づく公園の配置計画、規模・構造の異なる 4 タイプの野球場を提示した。

その後、新型コロナウイルス感染症の影響で作業が一時中断したものの、令和 3 年 12 月補正予算で公園基本計画策定作業を再開した。

令和 4 年度は、野球場の照明施設がアカウミガメに与える影響について調査を行い、令和 4 年 9 月県議会、11 月の閉会中審査の議論を経て、「子ガメの生態に人工光の影響がある」との結論が得られた。

令和 5 年 2 月議会では、公園整備プラン及び野球場タイプの評価案を公表した。

2 予算概要

（1）令和 4 年度

（単位：千円）

区 分	内 容	R3	R4	備考
遠州灘海浜公園（篠原地区） 基本計画策定事業費	・公園基本計画策定 ・環境影響予測調査	0	50,000	期間 R3～R4

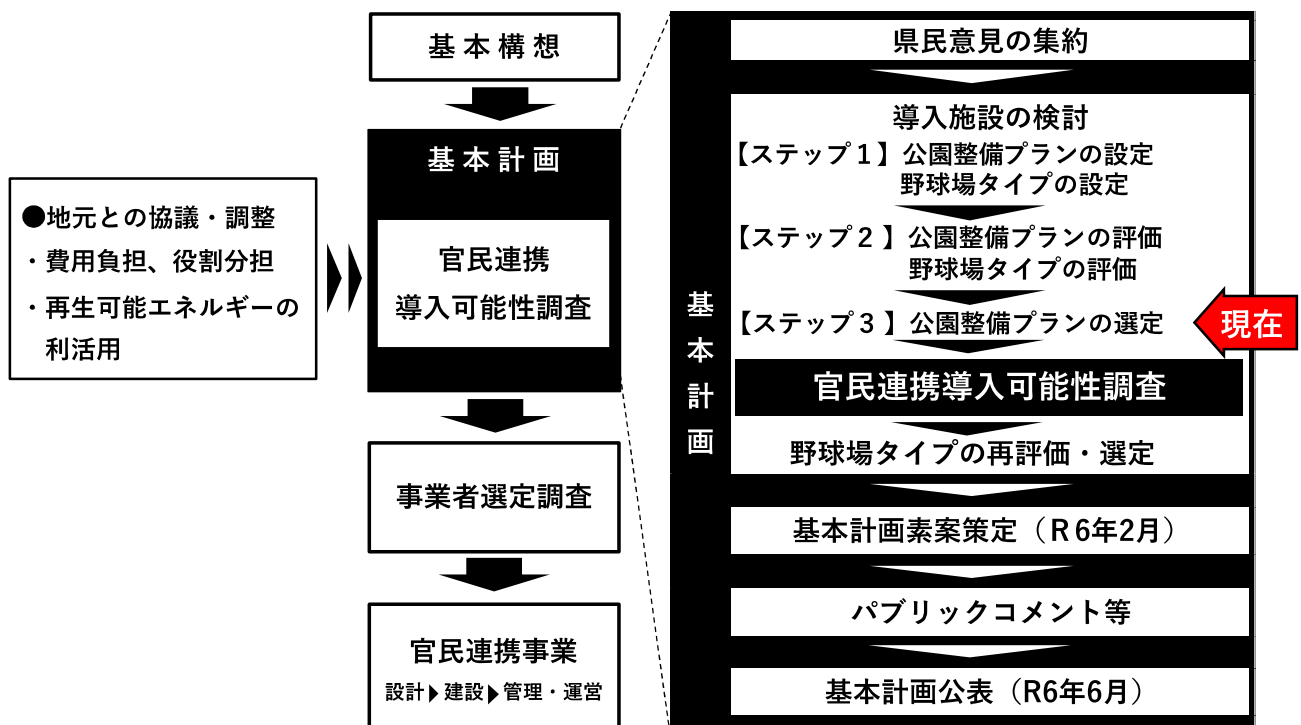
（2）令和 5 年度案

（単位：千円）

区 分	内 容	R5	備考
遠州灘海浜公園（篠原地区） 官民連携導入可能性調査事業費	・官民連携導入可能性調査		30,000

3 今後の進め方

令和 5 年度に基本計画を策定し、官民連携導入可能性調査に着手する。



遠州灘海浜公園（篠原地区）公園整備プラン及び野球場タイプの評価


1 公園整備プランの評価

- ・コンセプトの異なる 3 つの公園整備プランを評価する。



2 野球場タイプの評価


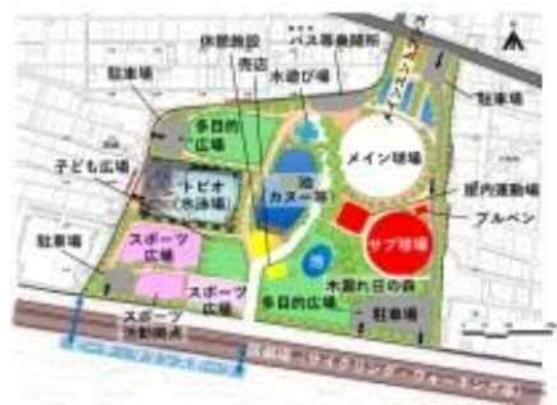

- ・規模、構造の異なる 16 の野球場タイプを評価する。

タイプ A (照明あり・なし)	タイプ B (照明あり・なし)	タイプ X (ドーム)	
草薙球場相当 (2.2 万人)			
 <p>(c) Google Earth ZOZO マリンスタジアム</p>	 <p>盛岡南ホールパーク(株) 提供 (仮)盛岡南公園野球場</p>	 <p>(c) Google Earth 札幌ドーム</p>	
タイプ C (照明あり・なし)	タイプ D (照明あり・なし)	タイプ Y (ドーム)	
愛鷹球場相当 (1.3 万人)			
 <p>(c) Google Earth 岐阜メモリアルセンター</p>	 <p>(c) Google Earth 静岡県営愛鷹球場</p>	 <p>(c) Google Earth 長浜バイオ大学ドーム</p>	
タイプ E (照明あり・なし)	タイプ F (ドーム)	タイプ G (照明あり・なし)	タイプ H (ドーム)
小規模球場 (1.0 万人)		小規模球場 (0.6 万人)	
 <p>(c) Google Earth 清水庵原球場</p>	 <p>(c) Google Earth 長浜バイオ大学ドーム</p>	 <p>(c) Google Earth 浜岡球場</p>	 <p>秋田県大館市提供 ニプロハチ公ドーム</p>

1 評価方法

・ 野球場(メイン球場)を除く公園について項目ごとに評価する。

2 評価

公園整備プラン	【プラン1】ボールパークを核とするスポーツの拠点公園	【プラン2】木々と水辺に囲まれた自然・スポーツ公園	【プラン3】みんなが楽しめる健康・スポーツ公園
公園全体イメージ			
コンセプト	野球をする方々の拠点として、野球の魅力の発信、裾野拡大、技術の向上を図るとともに、幅広い県民のスポーツ活動の拠点となる公園	遠州灘海岸に隣接する地域特性を活かし、豊かな水辺環境の中で野球を中心としたスポーツやレクリエーションが楽しめる公園	豊かな緑地空間の中、野球を中心としたスポーツやレクリエーションを通じて、幅広い年齢層の県民が健康づくりに取り組むことができる公園
特徴	幅広い野球利用者のニーズに対応できる充実した野球施設（メイン球場1面、サブ球場3面、ソフトボール場1面）を配置	気軽にカヌー等の水上スポーツを体験できる「池」や大人から子どもまで水に親しむことができる「水遊び場」及びビーチスポーツが行える砂地の「スポーツ広場」を配置	グラウンドゴルフや家族みんながスポーツを楽しめる多目的広場を広く確保し、あらゆる年代の方が気軽に健康づくりに取り組むことができる「健康増進拠点」を配置
導入施設	【全プラン同規模の施設】 メイン球場（2.2万人、1.3万人）、第1サブ球場（スタンド無し）1面、屋内運動場、ブルペン、園路、駐車場（常設1,500台）、スポーツ広場、木漏れ日の森、休憩施設、管理棟、スポーツ活動拠点、売店		
	【プランによって規模の異なる施設】 多目的広場等		
	サブ球場2面（スタンドあり・なし）、ソフトボール場） 打撃専用練習場	池、水遊び場、スポーツ広場（砂）、子ども広場	サブ球場1面（スタンド無し）、健康増進拠点、スポーツ広場（土） 子ども広場
概算事業費	150億円	150億円	140億円
年間維持管理費	2.0億円	2.0億円	1.9億円
年間経済波及効果	11.8億円	11.0億円	11.3億円
年間公園来場者数	37.0万人	36.7万人	36.7万人
費用便益比(B/C)	6.3	6.5	6.7
利用の多様性	・幅広い野球関係者のニーズに対応できる充実した野球施設を配置している。 ・野球以外のニーズに応えることが難しい。	・池では気軽にカヌー等の水上スポーツを体験できる。 ・利用形態が限られてしまう。	・多目的広場が広いイベントやスポーツ、防災活動など様々な使い方が可能である。 ・官民連携を導入する場合、民間からの事業参画が得られる可能性が高い。
総合評価	概算事業費・年間維持管理費が最小で、費用便益比が最大であり、多目的かつ自由に利用できる範囲が広いことからプラン3を選定した。		

■ 評価結果

【プラン3】みんなが楽しめる健康・スポーツ公園

野球場タイプの評価

R5年2月議会 建設委員会配布資料

1 一次評価

アカウミガメへの影響を考慮すると屋外の照明ありの野球場は評価対象から除外する。

2 二次評価

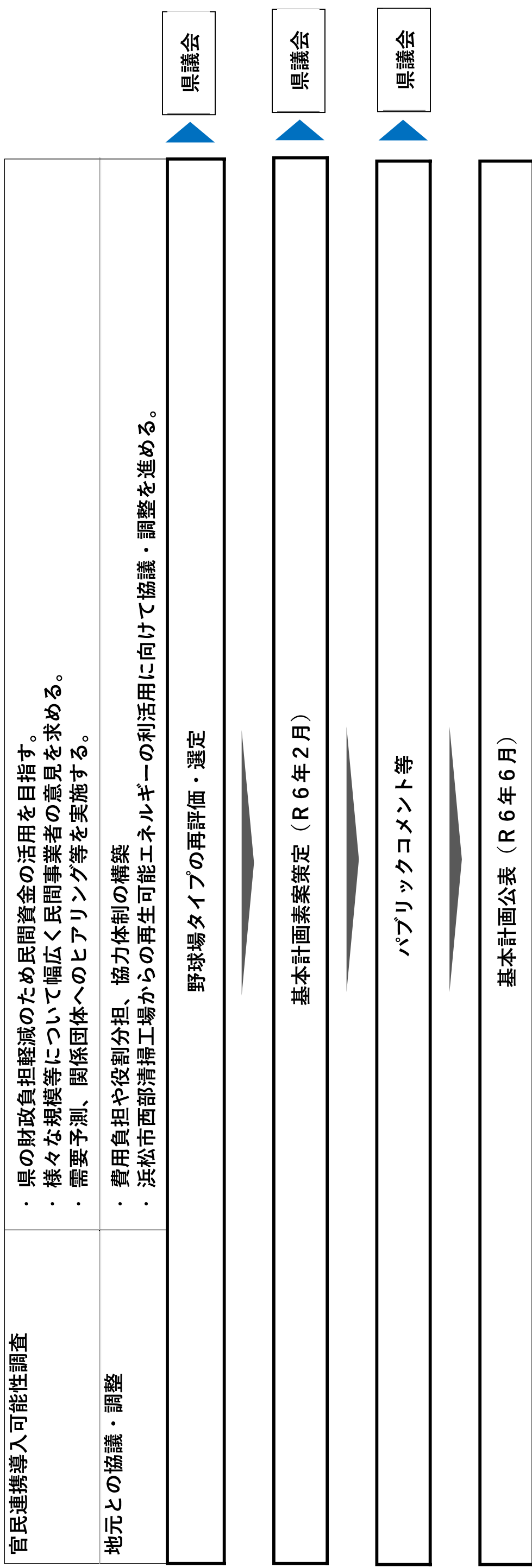
整備タイプ	タイプA	タイプB	タイプX	タイプC	タイプD	タイプY
	草薙球場相当 (2.2万人)			愛鷹球場相当 (1.3万人)		
野球場イメージ						
野球場の構造	外野スタンド：コンクリート構造	外野スタンド：盛土構造	ドーム構造	外野スタンド：コンクリート構造	外野スタンド：盛土構造	ドーム構造
照明の有無	照明なし	照明なし	照明なし	照明なし	照明なし	照明なし
概算事業費	200億円	100億円	370億円	140億円	70億円	290億円
年間維持管理費	2.7億円	1.6億円	4.8億円	1.9億円	1.2億円	3.8億円
年間経済波及効果	2.8億円	2.8億円	21.4億円	2.8億円	2.8億円	17.9億円
年間球場利用者数	6.7万人	6.7万人	12.7万人	6.7万人	6.7万人	11.1万人
費用対経済波及効果	0.47	0.85	1.96	0.66	1.17	2.06
拠点としての規模	県中部の拠点である草薙球場と同規模			県東部の拠点である愛鷹球場と同規模		
気象条件への適応	防風効果有／雨天影響有	防風効果無／雨天影響有	防風効果大／雨天影響無	防風効果有／雨天影響有	防風効果無／雨天影響有	防風効果大／雨天影響無
地域振興への寄与	利活用方法が限定される			利活用方法が限定される		
利用料金	施設			施設		

整備タイプ	タイプE	タイプF	タイプG	タイプH
	小規模野球場 (1.0万人)			
野球場イメージ				
野球場の構造	外野スタンド：盛土構造	ドーム構造	外野スタンド：盛土構造	ドーム構造
照明の有無	照明なし	照明なし	照明なし	照明なし
概算事業費	60億円	270億円	30億円	210億円
年間維持管理費	1.1億円	3.6億円	0.8億円	2.9億円
年間経済波及効果	2.8億円	17.9億円	2.1億円	17.3億円
年間球場利用者数	6.7万人	11.1万人	5.0万人	9.4万人
費用対経済波及効果	1.35	2.20	1.65	2.69
拠点としての規模	県中東部の拠点よりも小規模			
気象条件への適応	防風効果無／雨天影響有	防風効果大／雨天影響無	防風効果無／雨天影響有	防風効果大／雨天影響無
地域振興への寄与	利活用方法が限定される			
利用料金	施設			

■ 野球場タイプごとの課題

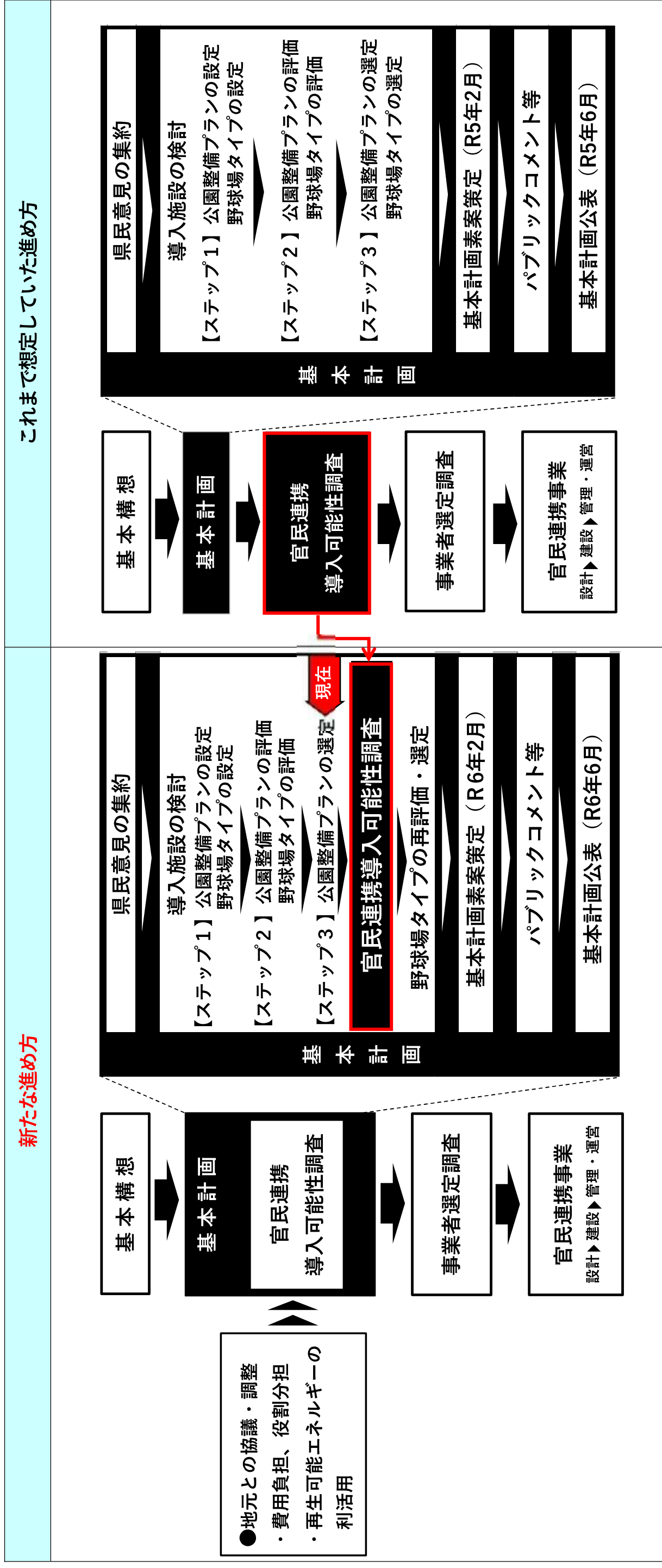
構造	課題
屋外タイプ（照明なし）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間利用が不可のため利用時間が限られる。 ・ 利用が天候に左右される。
ドームタイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概算事業費や維持管理費が高くなる。 ・ 空調代や照明代が加算されるため、利用料金が高くなる。

■ 今後の進め方



基本計画策定の進め方

1 進め方の変更



2 令和5年度当初予算の事業内容

市場調査	施設の需要調査 (ヒアリング・アンケート等) や事業の可能性について事業者に見聞聴取を行う。
事業スキームの検討	市場調査での意見を基に事業期間や範囲、管理運営方法、リスク分担等を検討する。
事業手法評価 (VFM 評価)	官民連携事業と公共事業のコストの比較を行う。

野球関係団体への聴き取り調査

聴き取り先	静岡県野球協議会
<p>① 各団体の浜松球場の大会等の利用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 春夏秋の大会で使用している。 ・ 試合は土日祝日に集中するため大会、練習試合での利用に不足している。浜松で球場の予約が取れないため、掛川や他県の球場まで探している。 <p>② 篠原地区に野球場ができた場合の利用の意向や新しい可能性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明代や空調代の利用料金がはっきりとわからないと何とも言えない。 ・ ドーム球場は雨天中止を考えなくてよいため大会の日程が組みやすい。 <p>③ ドーム球場の場合に利用で照明代・空調代が草薙球場と同程度若しくは若干高くなる程度の利用料金となった場合の利用について・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同程度であれば、利用可能だと思う。 ・ 現在も経費を削減しながら運営しているため、昼間の照明料金が必要となった場合は利用できなくなってしまう。照明代だけでも厳しい。 <p>④ サブ球場に求める機能、設備等、特に観客席の収容人数、方位名の意見について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観客席はバックネット裏300～500席程度あればよい。 ・ すべてのサブ球場にまでは観客席は必要ない。 ・ 草薙球場のような方位で問題ない。 ・ 防風ネットがあれば風邪対策の効果は大きい。 ・ スコアボードとBSOの表示機があればよい。 	

⑤ 周辺環境への光の影響を考慮したドーム球場と照明のない野球場では、どちらの野球場が望ましいと考えるか。

- ・照明のない球場だと1日に3試合こなせない可能性があり、日程を増やさなければならない。
- ・練習でのメインの利用方法はナイターになるため、照明なし球場だと利用が少なくなる。

⑥ その他

- ・屋内運動場はドーム球場となっても作ってもらいたい。雨天練習が可能なところであれば合宿が可能。合宿はドーム球場ではなくサブ球場でやることになるのでないか。

※ 野球協議会の以下の構成団体から集団にて聴き取り調査を実施

- ・ 静岡県野球協会 硬式野球
- ・ 静岡県野球連盟 軟式野球・少年学童部（軟式）
- ・ 静岡県高等学校野球連盟 硬式・軟式野球
- ・ 東海地区大学野球連盟 静岡学生リーグ
- ・ 静岡県中学校体育連盟 軟式野球専門部
- ・ 全日本リトル野球協会 シニア静岡ブロック
- ・ 全日本リトル野球協会 リトル静岡ブロック
- ・ 日本少年野球連盟静岡県支部 ボーイズ
- ・ 静岡県還暦軟式野球連盟

① プロ野球を開催するにあたり必要なスタンドの収容人数について。

- ・興行収支を考えると、内野席はできれば 12,000 席以上、外野席はレフトライト計 3,000 席以上（芝生の場合は収容数）の計 15,000 席以上が必要と考えている（最大 20,000 席程度）。

② 地方球場での公式戦を開催について。

- ・地方開催の場合、試合終了後はそのまま本拠地に戻ることが多い。そのため、試合後の控室からバスへの導線や、周辺の交通渋滞に配慮されている方が良い。
- ・屋内練習場、サブグラウンドが欲しい。グラウンドの質も重要視する。事前にグラウンドの確認をしている。
- ・地方での今後の開催については、球団の理念として「地域活性化」、「野球ファンの拡大」に向けて積極的に検討はしていなければならぬと考えている。
- ・秋のキャンプなどの可能性もある。いろいろな形で貢献できればと考えている。

③ 小さい規模の球場での公式戦を開催について。

- ・試合を開催する「地域・エリア」を優先することから、希望よりも小さい規模で開催した実績はある。近接した小規模球場を転戦することにより効率的に収益を上げる工夫等をしている。
- ・球団、主催者の立場で捉え方が変わる。地方開催の場合、主催者がその試合を企画、運営等を行う。主催者の意見としては、1軍では 2.0 万人以上、2軍であれば 2～3 千人の観客数は欲しい。
- ・約 16,000 人の球場で開催実績はある。主催者側で企画している。野球規則に基づいていること。諸室等の付帯施設やセキュリティ設備の充実。

④ **ドーム球場とスタジアム(屋根なし)では開催の優先順位について。**

- ・12 球団全体で試合スケジュールを決めている。天候に左右されないドーム球場は、優先的に地方開催の候補に挙がる可能性は間違いなく高い。雨天中止になってしまうと余計な経費が掛かってしまい損失が大きくなる。

イベント興行に関する聴き取り調査

聴き取り先	音楽イベント興行者（2者）
<p>① 運営側への配慮事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサート運営は、出演者以上にスタッフが多くいるので、昔の体育館だと諸室等が不足し苦勞する。 ・プレハブやテントで対応しているが、会場にスタッフの控えのスペースが欲しい。 ・展示会会場として使う場合は、サブ球場を運営用のスペースとしても良い。サブ球場は、イベント運営上はユーティリティーがある。 ・設営には、少なくとも1日半以上は見ておいた方が良い。天然芝の場合は養生できるのは48時間まで。 ・音響、スピーカー等は、設置する時の調整で対応できるため設計上はそこまで問題にならない。 <p>② 公園に求める機能について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園は物販・飲食が提供されると良い。店舗や広場でのキッチンカーも良いと思う。広場に給排水と電気設備さえあれば問題ない。 ・計画段階であまり作り込まず、PFIの提案とした方が民間事業者の裁量で提案があると思う。基本的に、最初は作りこみすぎず余白がある空間があった方が良い。 ・サブ球場とメイン球場があるのは良い。サブ球場は野球に拘らず、新興スポーツ（ラクロス、アルティメット等）が合宿の練習場として利用できる。 ・ドーム球場は、テニスやフットサルでの使用が考えられるが、芝の長さや人工芝、天然芝向きなど適する芝がある。 <p>③ 野球場の構造について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドーム構造の方が良い。 ・一般的に設営は時間がかかるが、環境が構築されていて、パソコンをコードでつなぐだけで設営が済むなどの設営時間が短く済む施設は魅力的であり、使用料が高くても需要がある。 	

④ 野球場の観客席について

- ・観客席が1万人を超えると、使えるアーティストは絞られてしまう。
- ・ドームツアーやアリーナツアー等は設営しやすいので同じような会場として組み込んでいく。
- ・コンサート会場として使用するよりは、県内で実績のあるフェスの会場として使用する方が良い。

⑤ 屋外の野球場でのイベント需要について

- ・音楽イベントの興行での需要があるかと聞かれると無いという答えになる。現状でも草薙球場等でイベントを行っていない。

⑥ ドーム球場の観客席数について。

- ・アリーナより大きく、5大ドームより小さい隙間の規模に需要はない。
- ・たまたまあるかもしれないが、可能性としては低い。隙間は結局、中途半端ということになるので、需要は少ないと思われる。

① 篠原地区でのイベント開催の見込みについて

- ・是非、利用したい。（A者）
- ・候補の一つとして考えられる。（B者）
- ・候補の一つとして考えられる。野球場ができたときに考えたい。（C者）
- ・野球場が完成した時に候補の一つとして考えられる。（D者）

② 開催場所について

- ・浜松市内では浜松産業展示館やアクトで開催している。場所が決まっているわけではない。（A者）
- ・例年、浜松市産業展示館で開催しているが今年は改修工事があったためオートレース場で開催した。（B者）
- ・浜松市産業展示館で開催している。車での来場が多いため駐車場が無料の場所で開催している。（C者）
- ・西部の候補としては浜松市産業展示館、浜松アリーナ、エコパなどから選んでいる。多くの集客が見込める場所や商品の搬入が容易な場所で行っている。車での来場者が多いため駐車場は必須である。（D者）

③ 屋根のあり、なしでの開催場所の選定への影響について

- ・屋内、屋外のどちらでも開催は可能であるが、天候の急変を考えると屋内の方が望ましい。（A者）
- ・貴重な展示品があるため屋内の方が開催しやすい。（B者）
- ・屋内のほうが開催しやすい。（C者）
- ・展示品の関係から雨の影響がある屋外では開催できない。屋内で搬入が容易な場所が良い。（D者）

④ イベントの来場者数について

- ・ 1回の興行で3日間程度開催し、1日に約2,000人の来場がある。(A者)
- ・ 2日で10,000人程度の来場がある。(B者)
- ・ 2日で2,000人程度の来場がある。(D者)

公園整備プラン		【プラン1】ボールパークを核とするスポーツの拠点公園						【プラン2】木々と水辺に囲まれた自然・スポーツ公園						【プラン3】みんなが楽しめる健康・スポーツ公園					
公園全体イメージ																			
コンセプト		野球をする方々の拠点として、野球の魅力の発信、裾野拡大、技術の向上を図るとともに、幅広い県民のスポーツ活動の拠点となる公園						遠州灘海岸に隣接する地域特性を活かし、豊かな水辺環境の中で野球を中心としたスポーツやレクリエーションが楽しめる公園						豊かな緑地空間の中、野球を中心としたスポーツやレクリエーションを通じて、幅広い年齢層の県民が健康づくりに取り組むことができる公園					
特徴		幅広い野球利用者のニーズに対応できる充実した野球施設（メイン球場1面、サブ球場3面、ソフトボール場1面）を配置						気軽にカヌー等の水上スポーツを体験できる「池」や大人から子どもまで水に親しむことができる「水遊び場」及びビーチスポーツが行える砂地の「スポーツ広場」を配置						グラウンドゴルフや家族みんながスポーツを楽しめる多目的広場を広く確保し、あらゆる年代の方が気軽に健康づくりに取り組むことができる「健康増進拠点」を配置					
導入施設		【全プラン同規模の施設】 メイン球場（2.2万人、1.3万人）、第1サブ球場（スタンド無し）1面、屋内運動場、ブルペン、園路、駐車場（常設1,500台）、スポーツ広場、木漏れ日の森、休憩施設、管理棟、スポーツ活動拠点、売店																	
		【プランによって規模の異なる施設】 多目的広場等																	
		サブ球場2面（スタンドあり・なし）、ソフトボール場） 打撃専用練習場						池、水遊び場、スポーツ広場（砂）、子ども広場						サブ球場1面（スタンド無し）、健康増進拠点、スポーツ広場（土） 子ども広場					
屋外タイプ(照明あり)		メイン球場 2.2万人			メイン球場 1.3万人			メイン球場 2.2万人			メイン球場 1.3万人			メイン球場 2.2万人			メイン球場 1.3万人		
ドームタイプ		タイプA	タイプB	タイプX	タイプC	タイプD	タイプY	タイプA	タイプB	タイプX	タイプC	タイプD	タイプY	タイプA	タイプB	タイプX	タイプC	タイプD	タイプY
概算事業費 (うちメイン球場)		360億円 (210億円)	260億円 (110億円)	520億円 (370億円)	300億円 (150億円)	230億円 (80億円)	440億円 (290億円)	360億円 (210億円)	260億円 (110億円)	520億円 (370億円)	300億円 (150億円)	230億円 (80億円)	440億円 (290億円)	350億円 (210億円)	250億円 (110億円)	510億円 (370億円)	290億円 (150億円)	220億円 (80億円)	430億円 (290億円)
年間維持管理費① (公園全体)		2億円	2億円	3億円	2億円	2億円	3億円	3億円	3億円	3億円	2億円	2億円	3億円	2億円	2億円	3億円	2億円	2億円	3億円
大規模修繕費② (30年に1回想定)		140億円	80億円	230億円	110億円	70億円	190億円	130億円	70億円	220億円	100億円	60億円	180億円	130億円	70億円	220億円	100億円	60億円	180億円
年間維持管理費 (①+(②/60))		5億円	4億円	7億円	4億円	3億円	6億円	5億円	4億円	7億円	4億円	3億円	6億円	5億円	4億円	7億円	4億円	3億円	6億円
年間直接消費額 (県内)		10.8億円		17.9億円	9.0億円		16.1億円	10.5億円		17.6億円	8.7億円		15.8億円	10.6億円		17.7億円	8.8億円		15.9億円
年間経済波及効果 (県内)		18.1億円		33.1億円	14.7億円		29.7億円	17.3億円		32.4億円	13.9億円		29.0億円	17.6億円		32.6億円	14.2億円		29.3億円
年間公園来場者数		45.2万人		49.3万人	44.2万人		48.3万人	45.0万人		49.1万人	44.0万人		48.1万人	44.9万人		49.0万人	44.0万人		48.0万人
費用便益比 (B/C)		2.9	3.8	2.0	3.4	4.2	2.3	2.9	3.9	2.1	3.4	4.3	2.4	3.0	3.9	2.1	3.5	4.4	2.4

R5年2月定例会委員会配布資料

公園整備プラン	【プラン1】ボールパークを核とするスポーツの拠点公園				【プラン2】木々と水辺に囲まれた自然・スポーツ公園				【プラン3】みんなが楽しめる健康・スポーツ公園			
	メイン球場2.2万人		メイン球場1.3万人		メイン球場2.2万人		メイン球場1.3万人		メイン球場2.2万人		メイン球場1.3万人	
屋外タイプ(照明なし)	タイプA	タイプB	タイプC	タイプD	タイプA	タイプB	タイプC	タイプD	タイプA	タイプB	タイプC	タイプD
概算事業費 (うちメイン球場)	350億円 (200億円)	250億円 (100億円)	290億円 (140億円)	220億円 (70億円)	350億円 (200億円)	250億円 (100億円)	290億円 (140億円)	220億円 (70億円)	340億円 (200億円)	240億円 (100億円)	280億円 (140億円)	210億円 (70億円)
年間維持管理費① (公園全体)	2億円	2億円	2億円	2億円	3億円	3億円	2億円	2億円	2億円	2億円	2億円	2億円
大規模修繕費② (30年に1回想定)	130億円	80億円	100億円	60億円	120億円	70億円	90億円	50億円	130億円	70億円	90億円	50億円
年間維持管理費 (①+(②/60))	5億円	4億円	4億円	3億円	5億円	4億円	4億円	3億円	5億円	3億円	4億円	3億円
年間直接消費額(県内)	8.9億円		9.0億円		8.6億円		8.7億円		8.7億円		8.8億円	
年間経済波及効果(県内)	14.5億円		14.7億円		13.7億円		13.9億円		14.0億円		14.1億円	
年間公園来場者数	43.3万人		44.2万人		43.1万人		43.7万人		43.0万人		43.6万人	
費用便益比(B/C)	2.9	3.9	3.5	4.4	3.0	4.0	3.5	4.5	3.0	4.1	3.6	4.6

※用地補償費50億円を含む。